

『間質性肺炎に声帯麻痺を合併した症例の後方視的研究』に関する患者様、ご家族の皆様方へ

当院では、『間質性肺炎に声帯麻痺を合併した症例の後方視的研究』という研究を行っています。胸膜肺実質線維弾性症（以下、PPFE）は、我が国で世界に先駆けて報告され、上葉の線維化と胸膜肥厚が主な特徴である稀な間質性肺炎です。これまで有効な治療法がなく、さらなる病態解明が求められていることから、PPFEの実態を検討することは、今後の同様の患者様の診断、治療を考える際に有用と考えています。さらに、その他の間質性肺炎の患者さんの声帯麻痺の病態についても検討します。なおこの調査は、ヘルシンキ宣言に基づいた倫理原則を遵守し「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和4年3月10日一部改正、文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示）」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」（令和4年6月6日一部改正）に従って実施しております。

<調査の対象となる患者さま>

対象：2010年1月から2022年12月末日までに当院で診断した間質性肺炎の患者様のうち、声帯麻痺（反回神経麻痺）を合併した患者様。

<調査方法>

患者様のカルテ等の記録をもとに調査いたします。本調査では、患者様に新たなご負担をおかけすることはありません。

<患者さまのプライバシーに関して>

プライバシー・個人情報は厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

<試料、情報利用の拒否について>

この研究の対象として試料、情報の利用をお断りになりたい方（ご本人ないし代諾者）はご連絡ください。研究結果が学会や学術雑誌で発表された後のご連絡には対応できません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究事務局までお問い合わせ下さい。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構近畿中央呼吸器センター

内科 滝本 宜之

TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-2153

この調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床研究審査委員会（IRB）における厳重な審査・承認を受けて実施しています。